

令和元年度 事業報告



玉野総合医療専門学校

21世紀の医療・保健・福祉のスペシャリストを養成します。



本校は、6つのビジョンを掲げ、21世紀の医療・保健・福祉のスペシャリストを育成します。

<6つのビジョン>

1. 医療関連社会で活躍でき得る人材（学生）を育成する。
2. 学生ひとりひとりの成長を支え、成果を具体化する。
3. 世界・日本の現状に応じた、国際性豊かな医療教育体制を整備する。
4. 研究マインドの保持と最新状況の理解を基にした教育能力を発展させる。
5. 地域社会と共に行動し、互いの発展に寄与する。
6. 全体の統一方針を確立し、学科間の相互理解を進展させ、教員・学生が納得できる学校運営を目指す。

玉野総合医療専門学校 校長 平井 義一

I. 教育について

1. 充実したカリキュラム整備に関する中期目標		
中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
①各養成施設基準に対応するため、カリキュラムの精査・改正を行う。	理学療法教育、作業療法教育の養成カリキュラム改正に伴う、カリキュラム変更を行う。	理学療法教育、作業療法教育の養成カリキュラム改正に伴い、教育内容及び時間数の見直しを行い、岡山県に変更承認申請を行った。
②国家資格取得に関連する専門科目の内容精査及び充実を行う。また実務家教員の配置を行う。	各養成施設指定基準を満たすよう、また各分野における専門性の高い教員の配置を維持する。	退職に伴う教員の補充を行うため、年齢構成、各専門分野配置教員数を考慮し、教員募集等採用を実施した。
2. 入学者選抜方法の検討に関する中期目標		
中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
①大学入学者選抜実施要領に準じた選抜方法の実施を検討する。	学生の能力、適性、可能性を確認し、優れた人材の確保に努める。	書類審査、面接審査、口頭試問、小論文審査、筆記試験などによるさまざまな選考方法による入試を実施した。

②入試方法の妥当性の検証を行うため、入試区分による在学生の成績追跡調査を行う。	退学率と入試区分による関係性があるか検証を行う。	過去5年間の退学者と入試区分の集計を行った。学科により関係性が見られたことから、今後の入試方法の検討に活用する。
3. 教育の質保証に関する中期目標		
中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
①教育活動、学修成果などに関する自己点検評価を定期的に行う。	専任教員において教育活動、組織運営などに関する目標を設定し、自己点検評価を行う。	授業アンケートの結果や目標設定において設定した指標に基づき、教員自己点検評価を行った。
②授業アンケートを定期的に行い、集計結果の内容をフィードバックさせ、改善に努める。	学生の授業実施内容に関する意見を集計するため、前期・後期に授業アンケートを実施する。	学生による授業アンケートを専任教員・非常勤講師に対して前期・後期実施した。今後の教育において改善する点として、集計結果の一部をフィードバックさせた。
③教員と個人面談の機会を設けるため、チューター制度の導入を行う。	チューター、コーディネーター制の導入によるサポート体制を充実する。	保健看護学科では、1学年に2名のコーディネーターを配置、その他の学科においては1名の担任を配置し、実習指導およびきめ細かなサポートの実施を行った。

II. 研究・創作について

1. 研究・創作に関する中期目標		
中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
①各年度において適切な研究計画が実行されるよう、研究計画及び予算計画に基づき配分を行う。	教員の研究活動を推進し、成果を教育に活かす。	教員の研究活動を推進するため、個人研究費を配分し、学会、研修会などへの参加の促進を行った。
②各年度において研究成果の発信を行うため、紀要の発行を行う。	研究成果を発信するための紀要投稿を推奨する。	研究成果として原著論文3編等を集録した「玉野総合医療専門学校紀要第14巻」の発行を行った。

III. 学生支援について

1. 学生支援に関する中期目標		
中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
①学校生活や家庭での状況などを情報共有し、学生の変化に即応できるよう最適な時期に保護者懇談会を実施する。	個々の学生に応じたサポート・指導を行うため保護者との懇談会を実施する。	学科・学年ごとに最適な時期に保護者懇談会を実施し、保護者と学生のサポートを行った。
②講義内容への理解が不十分な学生の理解度を高めるため、授業の前後、放課後等を利用し、個別相談や個別指導を行う。	学生個々の学力に合った指導を充実する。	授業の前後、放課後および空きコマを利用し、学生への個別相談や個別指導を行った。また、小テストなどで理解度を確認し、講義内容への理解が不十分な学生には理解度を高めるための指導を行った。

③国家資格の合格率を高めるため、通常の授業に加え、過去の出題傾向などを考慮した対策講座などの実施を行う。	卒業年次生全員に対する国家試験対策を実施する。	全ての学科の卒業年次生が国家試験対策を受講し、全員が国家試験に合格した。
--	-------------------------	--------------------------------------

2. 生活支援に関する中期目標

中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
①各部活の活動が十分に行えるよう設備支援、人的支援、金銭的支援を行う。	部活動としてではなく、全国大会出場を目指すため、人的支援、金銭的支援を行う。	テニス部と卓球部が全国大会に出場し、教職員を対象に支援金の募集、また同窓会と連携した遠征費の一部支援を行った。
②地域との交流を目的としたボランティア活動の支援を行う。	地域からの要望に応えた連携協力活動を実施する。	ボランティア活動を学習成果の一部として認定するため、地元のイベントに参加を行った。
③在校生の生活環境を調査し、公共の交通機関以外による通学方法の選択肢を提供する。	無料のスクールバスを運行し、学生通学をサポートする。	無料のスクールバスを岡山駅西口～本校間、倉敷駅～茶屋町駅～本校間で運行し、遠方から通学する学生のサポートを行った。

IV. 国際化について

1. 国際交流事業の推進に関する中期目標

中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
ライト大学やフィンドリー大学など、訪日文化研修団を受け入れ、学生主体による交流会を実施する。	海外からの研修団受け入れ、外国との交流を行う。	本学園と教育交流協定を締結しているアメリカライト大学及びフィンドリー大学から訪日文化研修団を受け入れ、学生主体による交流会を実施した。

2. 海外研修の推進に関する中期目標

中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
本学園と教育交流協定を締結している大学を中心に海外研修行事を実施する。	同分野を有する海外の協定校にて研修行事を実施する。	参加申込者が少数であったため本年度は未実施。

V. 地域社会連携・貢献について

1. 地域社会連携・貢献に関する中期目標

中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
①地域のイベントへ教職員及び学生が参加し、地域の方々に本校の教育内容を理解してもらいながら交流を深める。	各種イベントへ参加し、地域に貢献する。	玉野市最大のイベント「たまの・港フェスティバル(7月)」に参加し、無料の健康増進体験ブースの出店を行った。 また、玉野市の中心地で行う盆踊り大会「かつからか祭り(8月)」では、約70名の学生並びに教職員が踊り連に参加した。

②本校の教育内容を公開講座を通じて紹介するため、医療に関するテーマの公開講座を年間約3回実施する。	医療・保健・福祉に関する最新情報を提供し、市民の暮らしをサポートする。	『玉野で元気に！健康寿命をのばそう』をテーマに、10月5日を皮切りに、「健康診断検査結果の見かた」、「人生を楽しく豊かに過ごす会話術」、「認知症サポーター養成講座」をテーマに3回の講座を実施した。
---	-------------------------------------	--

Ⅵ. 組織・運営について

1. 学校運営組織に関する中期目標		
中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
学校運営に必要な方針を決定するため、定期的に各種会議を開催し、学校運営の向上化を行う。	教育や学生指導において課題となっている内容を精査し、各種会議において検討を行う。	高等教育無償化に係る対応内容など、各種専門委員会で対応内容などを協議し、全学で取り組んだ。

Ⅶ. 内部質保証について

1. 内部質保証に関する中期目標		
中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
①自己点検評価制度の確立を行い、教職員の意識向上を継続的に維持するため、点検評価を毎年実施する。	自己点検評価報告書を作成し、改善に努める。	自己評価委員会を3回開催し、評価指標に基づき点検評価を行った。
②内部質保証を適切に実施するため、自己点検評価の内容など第三者から評価を受ける体制を導入する。	学校評価委員会を設置し、第三者からの言及を尊重し、改善を進める。	自己評価委員会において第三者委員を定め、次年度より実施する体制を整えた。

Ⅷ. 教育研究環境について

1. 教育研究環境に関する中期目標		
中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
①養成施設基準やカリキュラム改定に基づき、教育に必要な実習設備等の維持及び整備を定期的に行う。	理学療法教育、作業療法教育の養成カリキュラム改正に伴い必要となる機器の精査を行う。	理学療法学科、作業療法学科において新たな養成施設基準に必要な機器の購入を行った。
	スポーツトレーナーの知識や技能を身に付ける為の施設整備を行う。	8月にNSCA ジャパン認定のトレーニング機材の導入を行った。
②自主的に学習に臨む学生をサポートするため、専門分野に関連した図書の購入を行う。また蔵書検索や無人貸出を行っている図書館システムの見直しを行う。	図書室の情報検索、無人貸出システムのサポート終了に伴い、新システムへのリプレースを行う。	今年度は既存のシステムを活用し、次年度導入に向け複数のシステムの情報収集を行った。

③講義やレポート作成の環境を整えるため、パソコン教室のシステムやソフトウェアの整備を定期的に行う。	パソコン OS のサポート終了に伴い、OS 等のバージョンアップを行う。	基本 OS を Windows10 へのバージョンアップ、学習環境として Office2019 へのバージョンアップも併せて行った。
---	--------------------------------------	--

IX. 運営・財政基盤について

1. 財政状況の安定化に関する中期目標

中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
①安定した収入を維持するため、学生募集活動を強化し、入学定員を確保することで学納金収入を増加させる。	地元高校を中心とした情報発信の強化を行い、受験者を増加させる。	県内高校を中心に受験者が増加、入学者が増加（約 50%）したことで学納金収入が増加し、財政状況の改善・安定化を図った。
②経費削減のため、見直し可能な契約内容や取組内容がないか、毎年内容の精査を行う。	過去の慣例にとらわれず、取組内容や契約内容の見直しを行い経費削減に努める。	電力自由化による安価な電力会社を選択し、令和 2 年 1 月より電気料金の契約単価の削減を行った。

2. 情報発信力の強化に関する中期目標

中期計画	令和元年度事業計画	令和元年度事業報告
広告掲載やホームページ・SNS など、メディアごとの反応状況を分析し、効果的な情報発信方法に予算等を投じる。	受験生の情報検索ツールとなるスマートフォンへの情報発信を行う。	ホームページのスマートフォン対応化を行い、前年比において閲覧者数（約 50%）、閲覧ページ数（約 26%）の増加を図った。

主な行事

4月4日	入学宣誓式
4月21日	理学・作業療法オープンキャンパス
5月11日	宣誓式（保健看護学科）
5月18日、19日	たまの港フェスティバル
5月25日	第1回オープンキャンパス
6月15日、16日	第2回オープンキャンパス
6月22日	岡山県専修学校スポーツ大会
7月2日	国際交流（外国人研修団との交流）
7月7日	入試説明会
7月20日	第3回オープンキャンパス
8月3日	第4回オープンキャンパス
8月20日	理学・作業療法オープンキャンパス
8月24日	第5回オープンキャンパス
9月21日	入試説明会
9月28日	保護者懇談会
10月19日	特別入試、指定校推薦入試他
10月26日	優勇祭（学校祭）、学校見学会
11月16日	推薦入試Ⅰ期、A0入試他
12月14日	推薦入試Ⅱ期、社会人入試他
1月25日	一般入試Ⅰ期
1月26日	国家試験受検（介護福祉学科）
2月8日	第6回オープンキャンパス
2月14日	入学前オリエンテーション
2月16日	国家試験受検（保健看護学科）
2月22日	一般入試Ⅱ期
2月23日	国家試験受検（理学療法士、作業療法士）
3月10日	卒業証明書授与式（※学科別により実施）
3月25日	一般入試Ⅲ期

学生・教職員数

■ 在籍学生数

(令和元年5月1日現在)

課程・学科名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
医療専門課程	保健看護学科	40	33	160	146
	理学療法学科	40	24	160	100
	作業療法学科	40	15	160	63
	計	120	72	480	309
教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科	40	9	80	17
	計	40	9	80	17
合 計		160	81	560	326

(単位：人)

■ 卒業生数等一覧

(令和元年度)

区分	卒業生	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
玉野総合医療専門学校	70	70	67	96%	1	31	3	12

※ 修業年限を超えて在籍している学生数 (令和2年4月1日現在)

(単位：人)

主な就職先	岡山赤十字病院、心臓病センター榊原病院、障がい者支援施設王慈療護園、岡山リハビリテーション病院、岡山博愛会病院、岡山県精神科医療センター 他
-------	--

■ 教職員数

(令和元年5月1日現在)

校長	副校長	教員	教員 計
1	2	28	31

(※副校長1名は教員兼任)

事務職員
7

(単位：人)

財務関係

■事業活動収支

(単位：千円)

科目		年度	平成30年度 決算額	令和元年度 決算額
教育活動 収支	収入	学生生徒等納付金	360,820	336,790
		経常費等補助金	26,621	24,178
		その他収入	17,982	20,368
		計	405,423	381,336
	支出	人件費	366,996	366,495
教育研究経費		94,795	93,356	
管理経費		41,012	35,939	
その他支出		451	529	
	計	503,254	496,319	
	教育活動収支差額	△ 97,831	△ 114,983	
教 活 外	収	受取利息等	1	0
		借入金利息等	0	0
		教育活動収支差額	1	0
	経常収支差額	△ 97,830	△ 114,983	
特 別	収	資産売却差額等	749	1,808
		資産処分差額等	972	140
		特別収支差額	△ 223	1,668
	基本金組入前収支差額	△ 98,053	△ 113,315	
	基本金組入額合計	0	0	
	当年度収支差額	△ 98,053	△ 113,315	

■施設設備整備計画

(単位：千円)

事業名	金額
トレーニング器具	4,842
カリキュラム改定用教具（理学療法）	1,935